

類上書かねばならぬ性質が書いてない、其の短かい文章はキビキビした特質の羅列でなく、實に分類學上、下らぬ形質が書いてある。Type がなくなれば永久に不明とならう。種名が不注意の爲めに使用されぬ場合は 歴代分類學の大家に決して珍しい事ではなく、青二才の小生の如きは度々不注意の爲めに自分でつけた學名を自分で廢さなければならぬので、まことに恐縮の至りである。

然し歴代大家の捨てられた學名の文獻はたゞ其の名だけが使用されぬだけで、主たる記載は永久に文獻として重要であり、分類學の基礎となる。

LÉVEILLÉ 氏の書いたものゝ中、まれに後に使用される學名があつたとしても、これは科學への功獻でなく混亂である。其の文獻を讀む人ごとに永久に不快を感じる事と思ふ。東亞には THUNBERG 氏以來今日に到るまで こんな人はこの人一人である。

抄 録

結城嘉美氏：— 山形縣植物誌 (Yoshimi YUKI: — Florula Yamagata-
praefecturaeana. Yamagata Japan 1934).

結城氏は山形中學校に奉職され 縣下の植物の熱心なる調査に従事し 既に十餘年に及ぶ。今度同中學校創立五十周年にあたり記念として山形縣植物誌を出版された。本書は現在同地方より報告された全部の文獻を挙げ 且つ同氏の採集に依る新植物が發表されてあり、今後の研究の基礎となるべきものである。内容は小泉博士の山形縣植物地理略に始まり結城氏の分布論あり、羊齒植物より蘭科に及ぶ詳細なる植物目録である。巻頭には十八葉の珍植物の寫眞をかゝり 卷末には山形縣の地圖がある。本文中の新植物には *Ariosorbus uzonensis* KOIDZ. gen. et sp. nov. デハノハゴロモナナカマド、*Vaccinium Motosukeanum* KOIDZ. sp. nov. マルバカクミノスノキ、*Veronica incanovelutina* KOIDZ. sp. nov. オニルリトラノヲ、*Ligustrum Yuhkianum* KOIDZ. sp. nov. オクノハマイボタ、*Cacalia aizuwensis* KOIDZ. var. *Yukii* KITAMURA var. nov. オホミミドホナ、*Artemisia subintegra* KITAMURA トビシマオトコヨモギ等が發表されてある。

この書は山形縣の人士は無論、他の地方で植物誌を編輯される方々にとつても良參考書であると思ふ。筆者は結城氏の熱心なる努力に謹んで敬意を表するものである。

〔結城氏出版 實費一圓六十錢 送料十錢〕(北村四郎)